



2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 株式会社アイリックコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7325 URL <https://www.irrc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝本 竜二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 戸谷 元彦 TEL (03)5840-9551
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の連結業績（2022年7月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年6月期第3四半期 | 4,359 | 13.5 | 130 | △56.2 | 136 | △55.6 | 1 | △99.1 |
| 2022年6月期第3四半期 | 3,839 | 13.1 | 297 | 4.4 | 307 | 6.0 | 182 | 4.9 |

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 1百万円 (△99.1%) 2022年6月期第3四半期 182百万円 (4.9%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年6月期第3四半期 | 0.20 | - |
| 2022年6月期第3四半期 | 21.39 | 21.16 |

(注) 当第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|---------------|-------|--|-------|--|--------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | |
| 2023年6月期第3四半期 | 4,357 | | 3,689 | | 84.7 | |
| 2022年6月期 | 4,578 | | 3,800 | | 83.0 | |

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 3,689百万円 2022年6月期 3,800百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年6月期 | - | 0.00 | - | 12.00 | 12.00 |
| 2023年6月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 2023年6月期（予想） | - | - | - | 15.00 | 15.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 6,122 | 17.8 | 304 | △27.2 | 310 | △28.1 | 179 | △30.0 | 20.65 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年6月期3Q | 8,708,000株 | 2022年6月期 | 8,568,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年6月期3Q | 88,467株 | 2022年6月期 | 367株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年6月期3Q | 8,681,548株 | 2022年6月期3Q | 8,543,180株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (重要な後発事象) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年7月1日から2023年3月31日まで)におけるわが国経済は、ウィズコロナにおける対策や各種政策により、経済活動の持ち直しが見られました。一方で、金利上昇による経済活動への影響や、原材料価格及び円安による物価高騰により消費が下振れするなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような外部環境の下、当社は「人と保険の未来をつなぐ～Fintech Innovation～」という企業テーマを掲げ、保険分析・販売支援におけるプラットフォームとしての事業展開を推進しております。また、独自開発した『保険IQシステム[®]』、『ASシステム』、『AS-BOX』及び『スマートOCR[®]』を活用し、システムユーザーの更なる拡大を目指しております。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①保険販売事業

直営店部門は、Web広告からの電話相談・オンライン相談への集客誘導をベースに、積極的な投資(前年同期比146.1%増)により、向井理さんをイメージキャラクターとしたTVCMをメインに大規模なプロモーション施策として11月に続き1月から2月にかけて今期第2弾として実施しました。また、引き続き、オリコン顧客満足度[®]調査で保険ショップ部門史上初の3年連続総合1位を押し出した広告も継続しております。その結果、Webによる流入が増加したことにより予約数は大幅に増加しました。一方で、既存店における直接来店件数は横ばいとなりました。3月末の直営店舗数は前期末から2店舗増の60店舗となり、売上高は前年を上回りましたが計画値には届いておりません。その結果、利益に関しては前年を下回りました。

法人営業部門は、新規案件及び既存顧客の大型追加契約の獲得により、売上高は当初予想を上回りました。

この結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は2,456,739千円(前年同期比8.3%増)、セグメント利益は172,096千円(同48.6%減)となりました。

②ソリューション事業

FC部門は、3月末のFC店舗数が前期末より3店舗増の199店舗(第3四半期では8店舗オープン、3店舗クローズ、純増5店舗)となりましたが、生産性の向上により売上高は増加しました。引き続き、他業種などからの新規参入意欲は大きく、FC登録見込数の増加傾向が続いております。今後も、①新規リクルート活動の強化、②既存代理店への追加出店の提案、③店舗運営指導要員の派遣という施策を実施し、他業界からの新規参入企業への支援と取り込みを行ってまいります。

AS部門は、3月末のASシリーズのユーザーID数が10,240となり堅調に推移しました。

また、生保エコシステム「生命保険給付金支払いプラットフォーム」を新たに住友生命グループのアイアル少額短期保険株式会社に3社目として採用いただき、保険契約者の方への給付金支払の短縮化に貢献しております。

引き続き大手保険会社をはじめとした大型案件は複数継続しており、具体的な導入に向けての検討が進んでおります。今後も全国規模の金融機関や保険会社、地方銀行、企業系代理店による新規導入の獲得に向けて注力いたします。

この結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,340,409千円(前年同期比19.5%増)、セグメント利益は479,768千円(同15.5%増)となりました。

③システム事業

子会社である株式会社インフォディオは、官公庁関連サービスへのOEM提供や大手企業や生命保険会社など、引き続き『スマートOCR[®]』関連の新規受託開発が好調に推移しました。また、国税庁、統計センターなどのサブスクリプション(定額課金)売上やみずほ銀行などからのリカーリング(従量課金)売上といったストック収益が伸びたことにより、大幅な増収となりました。一方で、第3四半期にて貸倒引当金繰入額を計上しておりますが、それを含めても増益となりました。

『スマートOCR[®]』については引き続き多くのお問い合わせを頂いており、今後の当社グループの業績を牽引することが期待できるサービスの一つです。

この結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は562,292千円(前年同期比24.8%増)、セグメント利益は105,200千円(同545.2%増)となりました。

(注)『スマートOCR[®]』とは、AI(人工知能)を搭載し、ディープラーニング技術(深層学習、人間が自然に行うタスクをコンピュータに学習させる機械学習の手法の一つ)を活用した、非定型帳票対応の次世代型光

学的文字認識システムです。

販売費及び一般管理費につきましては、11月と1月から2月にかけて実施したTVCMをメインとしたプロモーションや、人員増による人件費の増加、システム開発に伴うソフトウェア償却等、また、システム事業における貸倒引当金繰入額の計上があり、当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は3,548,575千円（前年同期比23.1%増）となりました。

また、当社が出資している取引先について、株式の実質価額に著しい低下があると判断し、保有する同社株式の簿価全額について投資有価証券評価損43,000千円を特別損失として計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高4,359,441千円（前年同期比13.5%増）、営業利益130,357千円（同56.2%減）、経常利益136,747千円（同55.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,708千円（同99.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,700,514千円となり、前連結会計年度末に比べ309,643千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が796,301千円減少し、預け金が333,225千円増加したことによるものであります。固定資産は1,656,598千円となり、前連結会計年度末に比べ88,598千円増加いたしました。これは主に無形固定資産が32,915千円、保証金が23,266千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,357,113千円となり、前連結会計年度末に比べ221,045千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は636,525千円となり、前連結会計年度末に比べ122,337千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が65,450千円、契約負債が44,954千円減少したことによるものであります。固定負債は31,375千円となり、前連結会計年度末に比べ12,893千円増加いたしました。これは主にその他の固定負債が12,893千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、667,900千円となり、前連結会計年度末に比べ109,444千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,689,212千円となり、前連結会計年度末に比べ111,601千円減少いたしました。これは主に利益剰余金が101,103千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は84.7%（前連結会計年度末は83.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年8月12日の「2022年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年6月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,233,247 | 1,436,945 |
| 売掛金及び契約資産 | 633,152 | 790,723 |
| 預け金 | — | 333,225 |
| その他 | 148,003 | 194,116 |
| 貸倒引当金 | △4,244 | △54,495 |
| 流動資産合計 | 3,010,158 | 2,700,514 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 250,849 | 268,993 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 66,958 | 59,129 |
| ソフトウェア | 469,144 | 497,976 |
| ソフトウェア仮勘定 | 37,006 | 62,056 |
| その他 | 58,814 | 45,676 |
| 無形固定資産合計 | 631,923 | 664,839 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 110,900 | 110,900 |
| 保証金 | 406,976 | 430,242 |
| 繰延税金資産 | 63,717 | 76,981 |
| その他 | 103,633 | 104,641 |
| 投資その他の資産合計 | 685,226 | 722,765 |
| 固定資産合計 | 1,568,000 | 1,656,598 |
| 資産合計 | 4,578,158 | 4,357,113 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年6月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 60,662 | 81,564 |
| 未払金 | 114,881 | 146,698 |
| 未払費用 | 52,464 | 47,807 |
| 未払法人税等 | 118,300 | 52,850 |
| 契約負債 | 237,900 | 192,945 |
| 株主優待引当金 | 25,872 | — |
| その他の引当金 | 3,458 | 8,974 |
| その他 | 145,323 | 105,685 |
| 流動負債合計 | 758,863 | 636,525 |
| 固定負債 | | |
| その他 | 18,481 | 31,375 |
| 固定負債合計 | 18,481 | 31,375 |
| 負債合計 | 777,344 | 667,900 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,325,441 | 1,354,780 |
| 資本剰余金 | 1,268,517 | 1,297,856 |
| 利益剰余金 | 1,206,667 | 1,105,564 |
| 自己株式 | △391 | △68,988 |
| 株主資本合計 | 3,800,234 | 3,689,212 |
| 新株予約権 | 578 | — |
| 純資産合計 | 3,800,813 | 3,689,212 |
| 負債純資産合計 | 4,578,158 | 4,357,113 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 3,839,887 | 4,359,441 |
| 売上原価 | 660,114 | 680,508 |
| 売上総利益 | 3,179,773 | 3,678,933 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,882,367 | 3,548,575 |
| 営業利益 | 297,406 | 130,357 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 210 | 227 |
| 受取賃貸料 | 17,010 | 21,116 |
| 受取保険金 | — | 557 |
| 助成金収入 | 5,106 | 1,935 |
| その他 | 517 | 494 |
| 営業外収益合計 | 22,845 | 24,330 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 105 | 79 |
| 賃貸収入原価 | 12,152 | 17,216 |
| その他 | 302 | 644 |
| 営業外費用合計 | 12,560 | 17,941 |
| 経常利益 | 307,691 | 136,747 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 127 | — |
| 特別利益合計 | 127 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 672 | 241 |
| 投資有価証券評価損 | — | 43,000 |
| 特別損失合計 | 672 | 43,241 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 307,146 | 93,506 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 118,139 | 105,062 |
| 法人税等調整額 | 6,228 | △13,264 |
| 法人税等合計 | 124,367 | 91,798 |
| 四半期純利益 | 182,778 | 1,708 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 182,778 | 1,708 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 182,778 | 1,708 |
| その他の包括利益 | | |
| その他の包括利益合計 | — | — |
| 四半期包括利益 | 182,778 | 1,708 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 182,778 | 1,708 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(子会社株式の一部売却)

当社は、当社が保有する連結子会社である株式会社インフォディオ（以下「インフォディオ」）の株式の一部をインフォディオ経営陣に売却しました。

1. 株式売却の理由

当社は、常に事業成長を目指しており、今回の売却は弊社の経営戦略の一環として行われたものです。この取り組みにより、子会社の経営陣がより自由な意思決定を行い、事業拡大に向けた展開が期待されます。また当社は、引き続きインフォディオの株式の大多数を保有し、強力に事業連携を続けてまいります。

2. 子会社の名称及び事業の内容

子会社の名称：インフォディオ

事業の内容：ソフトウェア開発

3. 株式売却日

2023年4月28日

4. 売却した株式の数

10,500株

5. 売却価額

31,867千円

6. 売却後の持分比率

89.5%

7. 企業結合の法的形式

連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の非支配株主への一部売却

8. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）」に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として、売却した株式に対応する持分を当社の持分から減額し、非支配株主持分を増額させるとともに、売却による当社の減少額と売却価額との間に生じた差額を資本剰余金とする処理を行う予定です。